

SATフォーラム2024

リチウムイオン電池が拓く未来社会

リチウムイオン電池の現在の状況を分析し、車の電動化がどのような未来の車社会を創出するのかについてお話しします。

吉野 彰 先生 講演会

産業技術総合研究所フェロー
ゼロエミッション国際共同研究センター長
旭化成株式会社名誉フェロー

7月8日[月]

15:30 - 17:00 (開場 15:00)

つくば国際会議場
Leo Esaki メインホール
参加費 一般 1,000円

つくばサイエンス・アカデミーの会員
及び会員の家族、学生は無料

講演 15:30 - 16:30

会場質疑 16:30 - 17:00

参加申込・問い合わせ

二次元コードから案内ページ(HP)に入り、
リンクしている申し込みフォーム、
又は裏面の申込書(FAX)でお申し込み下さい。
なお、お申込み多数の場合には受付を終了することが
ございます。参加費は当日、受付でお支払い下さい。



※個人情報につきましては、つくばサイエンス・アカデミーの
事業案内等に使用することがございます。

つくばサイエンス・アカデミー事務局

〒300-0032

茨城県つくば市竹園2-20-3 (つくば国際会議場内)

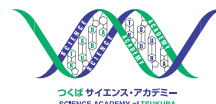
TEL 029-861-1206 FAX 029-861-1209

URL <https://www.science-academy.jp/>

E-mail academy@epochal.or.jp

| 主催 | つくばサイエンス・アカデミー (一般財団法人茨城県科学技術振興財団)

| 後援 | 茨城県、茨城県教育委員会、つくば市、国立研究開発法人産業技術総合研究所、
公益財団法人つくば科学万博記念財団、株式会社つくば研究支援センター、筑波研究学園都市交流協議会



講師略歴

1948年1月生。1972年京都大学大学院工学研究科専攻修士課程修了後、旭化成工業（現旭化成）に入社。1980年代の初めに吉野により考案されたリチウムイオン電池は、1986年に実用的なプロトタイプが完成した。リチウムイオン電池は携帯電話から電気自動車まで幅広く用いられ、情報化社会とクリーンエネルギーの普及に貢献。その功績から2003年文部科学大臣表彰、2014年全米工学アカデミーのチャールズ・スターク・ドレイパー賞、2019年文化勲章を受賞。同年12月、ノーベル化学賞を受賞。



講演概要

リチウムイオン電池 (LIB) は小型・軽量化を実現した二次電池であり、現在のモバイルIT社会の実現に大きな貢献をしてきました。そして現在、車載用（電気自動車用）という大きな転換期を迎えています。世界は2050年のカーボンニュートラル社会の実現に向けて動いており、単に車が電動化されるということだけではなく、グリーン・イノベーションに向けた世界的な大変革の序章と見るべきと考えます。本公演では、リチウムイオン電池の現在の状況を分析し、車の電動化がどのような未来の車社会を創出するのかについてお話しします。

FAX:029-861-1209

つくばサイエンス・アカデミー行
申込締切 7月3日(水)

SATフォーラム参加申込書

申込者		[お申込日 年 月 日]
フリガナ 氏名	お住まいの市町村又は勤務先	
<input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 会員の家族 <input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> 賛助会員企業の社員 <input type="checkbox"/> 非会員		
日中連絡の取れる電話番号	e-mail	

同伴者のお名前とふりがな

ご記入いただきました個人情報は、つくばサイエンス・アカデミーの事業等の案内に利用させていただくことがございます。

駐車場のご案内

駐車スペースが限られているため、極力、公共交通機関をご利用ください。

お車でお越しの場合は、つくば国際会議場(南・北)、都市交通センター南4・3駐車場をご利用ください。(時間貸有料)。

※また、駐車場在庫混雑緩和のため、講演会場にて**駐車サービス券**を販売いたしますのでご利用ください。

